

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド化

田子産にんにくを低温熟成処理した「琥珀にんにく」加工品の製造・販売

化学肥料の使用を抑えた栽培をしている地域ブランド「たっこにんにく」を活用した「琥珀にんにく」の新商品(地域発のスライス、パウダー、サプリメント商品)の開発・販路開拓を目指す。

連携体

農林漁業者 **宇藤 正悦 (農業)**

約1haに及ぶにんにく生産農地やにんにく栽培に係る経験・ノウハウを活用し、化学肥料の使用を抑えた品質の良いにんにくを生産し、提供する。

中小企業者 **田子かわむらアグリサービス(有) (食料品製造業)**

付加価値の高い「琥珀にんにく」を、食品製造業向けにはスライス、パウダーに、また個人向けにはサプリメント商品に加工し販売する。

サポート機関等 **(財)21あおもり産業総合支援センター、地域活性化支援事務局**

連携の経緯

田子かわむらアグリサービス(有)は、田子町の「たっこにんにく産地力強化戦略」策定に中心的に関わっていた経緯があり、地域で加工し地域で流通・販売できる仕組みは、農商工連携なくして道は拓けないとの思いから、自ら率先垂範し、農商工連携による地域活性化を目指していた。一方、宇藤正悦は、田子かわむらアグリサービス(有)の助言により、田子町が進める「健康な土づくり実証圃」の取組みを行い、化学肥料の使用量を抑え、有機質(堆肥)を施すことにより、畑自体の地力を活かしたにんにくの栽培に取り組んでいた。この両者の取り組みが、田子町のにんにく関連産業の活性化に寄与するものとして、連携に至った。



琥珀にんにく

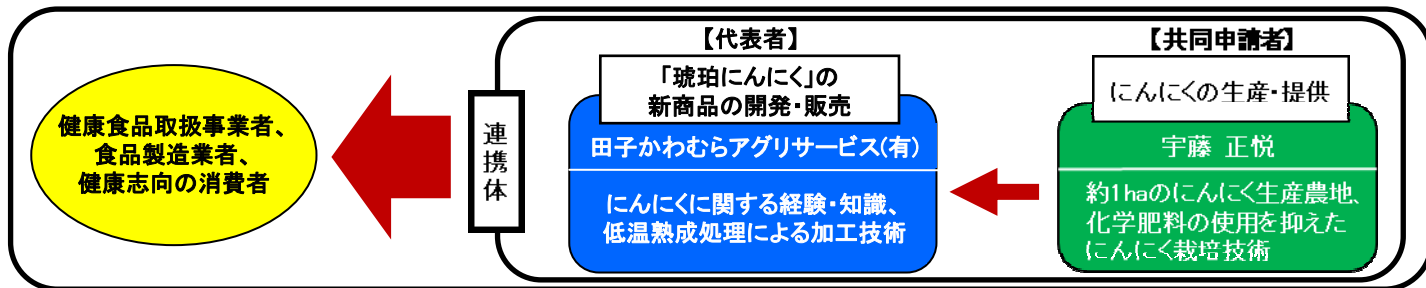
連携に当たっての課題や工夫等

宇藤正悦は、化学肥料の使用を抑えた栽培による品質の良いにんにく生産を継続していく中で、土壌診断による適正施肥に努めるとともに、今後は農薬の使用を抑えた栽培にも取り組む。田子かわむらアグリサービス(有)は、通常出荷されるにんにくとは別に、保存期間が長くなり、芽が出るなどして使用価値がなく農家が廃棄処分していたにんにくの有効成分の量が、通常のものよりも一段と高まっていることにも着目した。本連携事業では、にんにくを低温熟成処理することで生まれる、「軟らかい」「においが少ない」「機能性成分含有量が高い」「琥珀色」といった特徴により、「琥珀にんにく」という高級感を漂わせるイメージを確立し、独自性が高い商品として販売していく。



スライス

パウダー



連携による効果

農林漁業者 **5年で300万円の売上高増加、化学肥料・農薬の使用を抑えたにんにく栽培の確立**

化学肥料・農薬の使用を抑えた栽培による良品質にんにくの生産とともに、廃棄していた未利用にんにくの出荷により、高い収益性が期待される。

中小企業者 **5年で3,600万円の売上高増加、「たっこにんにく」の高付加価値化とブランド確立**

にんにく加工技術を確立し、高付加価値・高機能食品として健康食品市場に向けた事業展開を行うことにより売上の増加が図られるとともに、当該連携による需要拡大により「たっこにんにく」のブランド確立につながる事が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名	田子かわむらアグリサービス(有) 有限会社	所在地	青森県三戸郡田子町 大字田子字西館野54-3
TEL	0179-32-4358	FAX	0179-32-4358
E-mail	info@takkoagri.com	ホームページ	http://www.takkoagri.com